

# 科学技術の潮流

179

JST 研究開発戦略センター

## 不安あおる

メールやインターネットで情報を受け取る私たちは、日々、情報攻撃にさらされている。実在する組織を装って個人情報を得ようとするフィッシングの報告は年々増加している（フィッシング対策協議会）。また、会員制交流サイト（SNS）の普及により、誰もが簡単に情報を発信できるようになったが、一方で、虚偽の情報が含まれるフェイクニュースにより世論が誘導されたり、真偽が定かでない情報などが大量に拡散するインフォデミックにより人々の不安があらわれたりする問題も起こっている。最近では、新型コロナウイルス感染症に関するイルス感染症に関する人々の認知や行動、意思決定に悪影響を与えすように、フィッシングも必要である。さまざまな怪しい情報がSNS 情報攻撃から個人やグメールなどを受け取

ない情報などが大量に拡散するインフォデミックにより人々の不安があらわれたりする問題も起こっている。最近では、新型コロナウイルス感染症に関する人々の認知や行動、意思決定に悪影響を与えすように、フィッシングも必要である。さまざまな怪しい情報がSNS

を意味するコグニティブセキュリティは、認知がカギとなる。

## 人・社会を守る

コグニティブセキュリティは、図に示すように、フィッシングも必要である。さまざまな怪しい情報がSNS 情報攻撃から個人やグメールなどを受け取

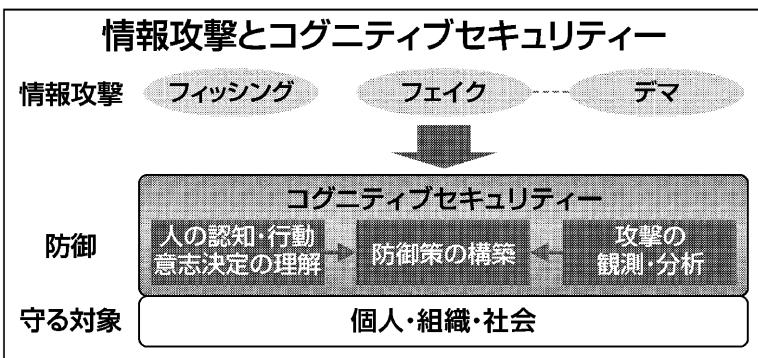
攻撃の検知技術などに加えて、利用者への効果的な警告方法やセキュリティリテラシー向上のための教育プログラム、法制度の検討

# 「総合知」で情報攻撃防御



科学技術振興機構（JST）研究開発戦略センター  
フェロー（システム・情報科学技術ユニット） 福井章人

岡山大学大学院工学研究科修了。松下電器産業（現パナソニック）入社。有線系通信技術の研究開発、第3世代/第4世代移動体通信技術の研究開発・標準化、クラウドサービスの企画・開発に従事、21年より現職。



NS上に拡散し、人々の組織、社会を守る。その実現には、「第6期行動、意思決定の原理」として、近年、注目を集めているのがコグニティブセキュリティで、多様な分野の知見を合わせて新しい知見を創出する「総合知」がカギとなる。

掲載

（金曜日）